

麻醉・蘇生学

1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	1 人	
講師（うち病院籍）	2 人	(2 人)
助教（うち病院籍）	4 人	(2 人)
診療助教	4 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	7 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	2 人	
合計	21 人	

2 教員の異動状況

佐藤重仁（教授）（H10.4.1～ 現職）
加藤孝澄（准教授）（H15.10.1～ 現職）
牧野洋（講師）（H23.4.1～ 現職）
御室総一郎（講師）（H27.2.1～現職）
谷口美づき（助教）（H19.2.1～ 現職）
佐野秀樹（助教）（H22.4.1～ 現職）
吉田香織（助教）（H24.4.1～ 現職）
鈴木興太（助教）（H25.1.1～ 現職）
川島裕也（診療助教）（H24.4.1～ 現職）
朝比奈瞳（診療助教）（H25.4.1～ 現職）
林美彌子（診療助教）（H25.4.1～ 現職）
秋永泰嗣（診療助教）（H26.11.1～ 現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	1.94	

(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	1 編	
そのインパクトファクターの合計	1.12	
(3) 総説数 (うち邦文のもの)	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数 (うち邦文のもの)	1 編	(1 編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	2 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Wada K, Makino H, Shimada K, Shikata F, Kuwabara A, Hashimoto T*. Translational research using a mouse model of intracranial aneurysm. *Transl Stroke Res.* 5: 248-5, 2014. [1.94] (共同筆頭著者)
インパクトファクターの小計 [1.94]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. 木村哲朗*, 御室総一郎, 鈴木明, 牧野洋, 佐藤重仁, 庭山雅嗣.: 星状神経節ブロックの効果判定における携帯型赤外線分光法測定器の有用性. *ペインクリニック* 36(1): 97-100. 2015.
[0]
インパクトファクターの小計 [0]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Yu S, Mochizuki T, Katoh T, Makino H, Kawashima Y, Mimuro S, Sato S: Hypocapnia delays subsequent bupivacaine cardiotoxicity in rats under sevoflurane anesthesia *Springer Plus* 2014, 3;371-375 [0]
インパクトファクターの小計 [0]

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

1. Kimura T, Katsuragawa T, Sato S: Awake postural change to prone in morbidly obese patient. *Journal of Anesthesia*, Epub ahead of print, 2014 [1.12]
インパクトファクターの小計 [1.12]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 谷口美づき, 中島芳樹: 妊婦の命を支える“和”の力 産科領域におけるセルサルページ 日臨麻会誌. 35(2):244-249. 2015 [0]
インパクトファクターの小計 [0]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 鈴木明, 佐藤重仁 : 前投薬のあり方 麻酔科研修ノート 改訂第2版 2014

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 木村哲朗, 五十嵐寛, 川島裕也, 水野香織, 谷口美づき, 牧野洋, 佐野秀樹, 加藤孝澄, 佐藤重仁 : 術後創部痛の治療中に同一神経域に発症した帯状疱疹の1症例. ペインクリニック 36(2): 199-201.2014 [0]

インパクトファクターの小計 [0]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. 三村真一郎, 水野香織, 谷口美づき, 五十嵐寛, 佐藤重仁 : 近赤外線星状神経節近傍照射療法を含めた治療が疼痛コントロールに有効と思われた四肢難治性潰瘍の1症例. ペインクリニック 35(8)1067-72, 2014. [0].

インパクトファクターの小計 [0]

4 特許等の出願状況

	平成26年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成26年度
(1) 文部科学省科学研究費	3件 (140万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	5件 (284万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	6件 (220万円)

- (1) 文部科学省科学研究費
 - ・ 基盤研究(C) (研究代表者) 「運動療法が高齢者の心筋保護効果を示すメカニズムについての研究」 平成24年度～平成26年度 平成26年度20万円
 - ・ 基盤研究(C) (研究代表者) 「高齢者の術前運動療法の周術期心筋保護と術後回復促進のメカニズムに関する研究」 平成25年度～平成26年度 平成25年度70万円
 - ・ 若手研究(B) (研究代表者) 「薬理的安定化による脳動脈瘤破裂予防の研究」 平成25年度～平成26年度 平成26年度50万円
- (2) 厚生労働科学研究費
- (3) 他政府機関による研究助成
- (4) 財団助成金
- (5) 受託研究または共同研究
 - ・ 受託研究 (治験) 小野薬品工業(株) H24.11.07-H27.03.31 233 万円
 - ・ 受託研究 (製造販売後調査等) 丸石製薬(株) H25.12.18-H26.03.31 2 万円
 - ・ 受託研究 (製造販売後調査等) ファイザー(株) H25.11.26-H27.06.30 11 万円
 - ・ 受託研究 (一般) エドワーズライフサイエンス(株) H25.10.28-H26.04.30 16 万円
 - ・ 受託研究 (製造販売後調査等) (株)大塚製薬工業 H27.03.31-H29.06.22 21.6 万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	2 件
(4) 学会開催回数	0 件	1 件
(5) 学会役員等回数	0 件	17 件
(6) 一般演題発表数	9 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

1. Makino H: Traveling Exhibition of the Anesthesia Museum of the Japanese Society of Anesthesiologists. American Society of Anesthesiologists annual meeting. 2014. October, New Orleans

2. Makino H: Serial imaging of mouse cerebral arteries using a conventional 3T MR — a feasibility study using a mouse model of intracranial aneurysm. World congress of Stroke. 2014 October. Istanbul.
3. Hayashi M, Katoh T, Katsuragawa T, Asaba H, Kimura T, Makino H, Sato S: Inexperienced Users Can Intubate a Manikin With a Smaller Degree of Retrocollis and a Lower Incidence of Tooth Injury Using a Mcgrath MAC Compared to a Macintosh Laryngoscope. American Society of Anesthesiologists annual meeting, 2014 October, New Orleans
4. Kimura T, Makino H, Katoh T, Sato S: Subarachnoid Hemorrhage Decreases Isoflurane Requirement in Mouse Model of Intracranial Aneurysm. American Society of Anesthesiologists annual meeting, 2014 October, New Orleans
5. Makino H, Hokamura K, Kimura T, Kawashima S, Katoh T, Umemura K, Sato S: Efficacy of V-gel supra glottic airway over laryngeal mask airway for rabbit airway management. International Anesthesia Research Society. 2015 March. Honolulu
6. Iwata H, Kimura T, Kobayashi K, Kawashima S, Makino H, Katoh T, Sato S: Examination of the change in the femoral vein diameter due to lower limb flexion. International Anesthesia Research Society. 2015 March. Honolulu
7. Kawashima S, Asaba H, Kobayashi K, Kimura T, Makino H, Katoh T, Sato S: Management of a patient with extremely severe thoracolumbar kyphoscoliosis. International Anesthesia Research Society. 2015 March. Honolulu
8. Kato H, Kato T, Hirano K, Yagi T, Tanaka N, Kawakami J, Sato S: The impact of CYP3A5 gene polymorphisms on the pharmacokinetics of Fentanyl and Norfentanyl in the perioperative period. International Anesthesia Research Society. 2015 March. Honolulu
9. Mimuro S, Katoh T, Sato S: Organ protection and improvement of survival after hemorrhagic shock by treatment with inhaled nitric oxide (NO) in a rat model. International Anesthesia Research Society. 2015 March. Honolulu

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
 - ・ 日本蘇生学会第 33 回大会
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表
- 4) 座長をした学会名
 - ・ 日本臨床麻酔学会第 34 回大会

- ・ 第10回日本医学シミュレーション学会学術集会
- (3) 役職についている国際・国内学会名とその役割
- ・ 日本臨床麻酔学会 理事 (佐藤重仁)
 - ・ 日本蘇生学会 評議員 (佐藤重仁)
 - ・ 日本麻酔科学会 代議員 (佐藤重仁)
 - ・ 日本ペインクリニック学会 評議員 (佐藤重仁)
 - ・ 日本循環制御医学会 評議員 (佐藤重仁)
 - ・ 日本麻酔科学会東海・北陸支部東海地区支部 理事オブザーバー (佐藤重仁)
 - ・ 日本臨床麻酔学会編集発行委員長 (佐藤重仁)
 - ・ 日本ペインクリニック学会東海北陸地区 評議員 (佐藤重仁)
 - ・ 日本臨床モニター学会 評議員 (佐藤重仁)
 - ・ 日本麻酔科学会東海・北陸地区 理事 (加藤孝澄)
 - ・ 日本シミュレーション学会 理事 (加藤孝澄)
 - ・ 日本ペインクリニック学会東海北陸地区 理事 (加藤孝澄)
 - ・ 日本臨床麻酔学会 評議員 (加藤孝澄)
 - ・ 日本麻酔科学会 評議員 (加藤孝澄)
 - ・ 日本区域麻酔学会 評議員 (加藤孝澄)
 - ・ 日本麻酔科学会、麻酔博物館委員 (牧野洋)
 - ・ 日本麻酔科学会、国際麻酔科学史シンポジウム2021 招致検討専門部会 部会員 (牧野洋)

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成26年度
(1) 国際共同研究	1件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	1件

10 産学共同研究

	平成26年度
産学共同研究	0件

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

15 新聞, 雑誌等による報道